

## “やりたい”からはじまる！みんなのまちづくりカレッジ よくある質問（FAQ）集

### ◆まちづくりカレッジについて

#### Q. 実施期間はどれくらいですか？

A. みんなのまちづくりカレッジは、令和8年8月のキックオフ・オリエンテーションから令和9年2月の成果発表会までの取組みとなりますが、終了後にも取組みが継続されることを期待しています。

#### Q. 過去に富山県のまちづくり研修プログラムやコンテストに参加したことがあります が、みんなのまちづくりカレッジへの参加は可能ですか？

A. 過去の参加状況に関わらず、みんなのまちづくりカレッジはどなたでもご参加いただけます。

### ◆応募について

#### Q. 「スタートコース」と「ステップアップコース」のどちらに応募するか迷っています。 2つのコースに応募してもいいですか？

A. どちらか1つのコースにご応募ください。

##### 【スタートコース】

「アイデアは漠然としているけれど地域のために何かしたい」「1人ではなく研修プログラムを通じて仲間を見つけて動きたい」という方におすすめです。※これまでの経験や知識の有無は問いません。

##### 【ステップアップコース】

「すでに実践している活動を『次のステージ』へ進め、加速・発展させたい」という方におすすめです。

#### Q. 「ステップアップコース」に応募したいのですが、個人（または任意団体）でも応募できますか？

A. はい、可能です。法人格（NPO 法人や株式会社など）の有無は問いません。個人・グループ問わずご応募いただけます。（スタートコースについては、個人でのご応募をお願いします。団体所属の有無は問いません。）

**Q. 「ステップアップコース」の「2分以内のプレゼン動画」は、どのように撮影・提出すればいいですか？**

A. スマートフォン等で撮影した動画（横向き撮影を推奨、MP4 または MOV 形式）で構いません。また、PowerPoint やオンライン会議ツールの録画機能を使って動画データにしていただくことも可能です。

代表者の方の自己紹介、解決したい地域課題、プロジェクトへの熱意などを2分以内でお話してください。提出は、指定のオンラインストレージ（Box）へ企画提案書とともに動画をアップロードいただきます。

詳しくは、富山県ホームページ内「みんなのまちづくりカレッジ」ページの「4.関連ファイル」に掲載されている「応募の手引き」をご確認ください（[こちらからもご確認ください](#)）。

**Q. 「ステップアップコース」に応募しましたが、審査の結果、不採択の場合「スタートコース」へ参加できますか？**

A. ステップアップコースの応募フォーム内で「不採択の場合に、【スタートコース】へのスライド参加を希望する」にチェックをしていただければ、自動的にスタートコースに参加（定員を超えるお申し込みがあった場合は抽選）することができます。

その場合は、研修プログラムに参加しながら、他の参加者とチームを編成し（活動費：1チームにつき15万円まで）、新たなプロジェクトに挑戦していただきます。

※トライアルプロジェクトの内容は研修プログラムで編成されるチーム内で決めていただきます。ただし、参加者が既に個人または団体で取り組んでいる内容は除きます。

※団体でのお申し込みの場合、スライド参加でスタートコースに参加するとなった場合は1団体につき1名までとなりますので予めご了承ください。団体のうちどなたが参加されてもかまいません。

**Q. 「ステップアップコース」に応募したいのですが、企画提案書の作成例はありますか？**

**A.** 富山県ホームページ内「みんなのまちづくりカレッジ」ページの「4.関連ファイル」に掲載されている「企画提案書作成例」をご確認ください（[こちらからもご確認ください](#)）。

**Q. 「ステップアップコース」に応募したいのですが、国等の補助金交付を受けている事業は今回応募することは出来ますか？**

**A.** 国、富山県、他の自治体から委託や助成を受けている場合は、応募できません。

#### ◆トライアルプロジェクトについて

**Q. トライアルプロジェクトの期間はどのくらいですか？**

**A.** トライアルプロジェクトの期間は、プロジェクトの内容によりますが、約半年程度です。令和9年2月の成果発表会までにはトライアルプロジェクトを完了させてください。

**Q. トライアルプロジェクトの活動費の上限はありますか？**

**A.** 参加するコースによって、上限が異なります。

【スタートコース】 1チームあたり、15万円まで

【ステップアップコース】 1プロジェクトあたり、30万円まで

**Q. 活動費の上限を超えてトライアルプロジェクトを実施する場合に、超えた分を参加者負担として行っても問題ありませんか？**

**A.** 差し支えありません。ただし、活動費を超える部分は、自主事業として実施してい

ただくこととなります。その際は、活動費と参加者負担とする費用を明確に区分してください。

#### ◆トライアルプロジェクトの活動費について

##### Q. 活動費はどのようなものが対象となりますか？

A. トライアルプロジェクトの実施にかかる活動費は、消耗品費、会場借上料、保険料等（備品購入費は除く）が対象となります。

##### Q. 活動費は、自分たちで立て替える必要がありますか？

A. 立て替える必要はありません。参加者の経済的負担や一時的な立替をなくするため、トライアルプロジェクト実施期間中に提出いただく計画書に基づき、まずはベースとなる「プロジェクト準備金」を事前に一括でお支払い（前払い）いたします。

##### Q. 既に提出した計画書の予算額を超える費用がかかりそうな場合はどうすればいいですか？

A. 事前に理由書（追加計画）を事務局に提出いただき、承認された場合に限り、上限額まで追加の活動費を先払いいたします（スタートコースは上限 15 万円、ステップアップコースは上限 30 万円まで）。

##### Q. 前払いしてもらった活動費が、余ってしまった場合はどうすればいいですか？

A. 原則として、プロジェクト期間内（成果発表会の展示物制作や、検証の延長など）で計画に沿って使い切っていただくようお願いいたします。どうしても発生した端数の処理については、最終の収支決算書提出の際、個別に事務局より精算方法をご案内いたします。

##### Q. トライアルプロジェクトのなかで売上（参加費や物販など）が発生した場合、返金

### する必要がありますか？

- A. 返金の必要はありません。ただし、発生した売上金は個人の利益にするのではなく、本事業の期間内に「プロジェクトをさらに発展させるための追加費用（材料費や広告費など）」としてチーム内で使い切っていただきます。使い道については事前に事務局へご相談ください。

### ◆研修への参加・チーム活動について（スタートコース向け）

#### Q. 「スタートコース」は、すべての研修プログラムに出席しなければなりませんか？

- A. 本研修プログラムはチームでのトライアルプロジェクトを伴う実践型の研修であるため、原則としてすべての出席が必要となります。

#### Q. 急な仕事や体調不良でどうしても欠席しなければならない回がある場合はどうなりますか？

- A. 万が一欠席される場合は、必ず事前に事務局へご連絡ください。研修内容のキャッチアップができるよう、後日、参加者限定で研修資料等を共有いたします。ただし、チームワークに影響が出るため、極力リアルタイムでのご参加をお願いいたします。

#### Q. 研修プログラムの中でどのようにチームを組むのですか？自分でメンバーを探す必要がありますか？

- A. 第1回（8/6）のキックオフ・オリエンテーションにて、参加者の皆様が関心のあるテーマ（子育て、空き家、コミュニティなど）を共有し、事務局のファシリテーションのもとで自然にチームが作れるようサポートします。現時点で仲間がいなくても全く問題ありません。※トライアルプロジェクトの内容は研修プログラムで編成されるチーム内で決めていただきます。ただし、参加者が既に個人または団体で取り組んでいる内容は除きます。

**Q. チーム内で意見が合わなくなったり、活動の進め方でトラブルが起きたらどうすればいいですか？**

**A.** まちづくり活動において、意見のぶつかり合いはごく自然なことです。困ったときは抱え込まず、いつでも事務局にご相談ください。定期的なメンタリングの場だけでなく、日常的な LINE 等での相談体制も整える予定です。

**【お問い合わせ先】**

富山県「みんなのまちづくりカレッジ」運営事務局  
株式会社 Asian Bridge 富山 LAB  
TEL：076-471-6701（平日 9 時 30 分～17 時 00 分）  
E-mail：toyama@asianbridge.co.jp